

各校の成果と課題、「今後、力を入れて取り組む内容」

小学3年生

学校	教科	成果○と課題●	今後、力を入れて取り組む内容
川之江小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の読み取りは、ほぼ目標値に達している。 ● 聞き取り能力や漢字の定着に課題が見られる。 ● 説明文を読み取ることが苦手な児童が多い。 ● 自分の考えと理由を書く力が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書に親しむとともに、物語文の読み取り、音読に力を入れる。 ・ 「話す・聞く」活動を大切にし、話し方、聞き方の工夫を身に付けられるようにする。 ・ 繰り返し練習に取り組んだり、文章を書く習慣の定着を図ったりする。 ・ 自分の考えを書く機会を様々な活動で取り入れていく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国平均とほぼ同程度の学力が身に付いている。 ○ わり算の定着が見られる。 ○ 「一万をこえる数」や「円と球」をよく理解している。 ○ コンパスを使った問題がよくできている。 ● かけ算の分配法則や「時刻と時間」の問題に課題がある。 ● 繰り下がりのあるひき算を苦手とする児童が見られる。 ● かけ算の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の定着を図るために、朝学習「レッツスターディー」や家庭学習等で、かけ算やかけ算の仕組み、繰り下がりのあるひき算を復習できるようにする。 ・ 生活経験には個人差があり、問題によっては実感できにくいものもあるため、様々な経験・体験を意識的に取り入れ、他教科の学習活動と算数科の学習内容を関連させながら教科横断的な学習の充実を図る。習内容の定着を図るために、既習事項の復習プリントをする。
金生第一小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字やローマ字を読むことができる。 ● 漢字を書くことが苦手である。 ● 音声で複数人の会話を聞き取り、複数の話題から、共通点を見付け、書き出すことが難しい。 ● 文章の要旨（一番伝えたいこと）を把握し、文章で表現することが苦手である。 ● 定められた条件を満たして、文章を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト（漢字はかせ）の事前練習や直しの徹底により、漢字の定着を図る。 ・ 音読指導を続け、文意を読み取る力を育む。 ・ 初見の短い文章を用いた読解プリントに取り組み、読解の方法を知り、次の文章に生かすことができるようにする。 ・ 授業の最後のまとめや振り返りを書く際に、条件を満たしながら書く練習を行う。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余りのある割り算を解くことができる。 ○ 数の相対的な大きさを理解することができる。 ● 繰り上がり・繰り下がりが複数含まれる筆算を解くことが苦手である。 ● 文章に書かれた情報をイメージして、式に表すことに課題がある。 ● 計算のやり方を文章にして説明することの正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年で学んだ四則計算の筆算を反復練習し、習得させる。 ・ 文章に書かれた情報を頭の中で整理し、どんな式になるのか考える問題に取り組ませる。 ・ 文章問題プリントに取り組み、数量関係を捉え、式に表す経験を積ませる。逆に、計算式から、文章を作る学習にも取り組み、文章と計算式の繋がりを理解させる。
金生第二小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の内容を読み取ることが、ほぼできている。 ○ 既習の漢字を読むことができている。 ● 説明文の内容を読み取ること課題がある。 ● 指定された長さや段落など、条件に沿って文章を書くことに課題がある。 ● 既習の漢字やローマ字を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書の時間を通して、いろいろなジャンルの本に興味を持てるよう、本の紹介などを継続する。 ・ キーワードなどの条件を与えて、短い文章を書く活動を継続して行う。 ・ 言語活動を行う際、中心となる語や文を意識させる。 ・ 既習の漢字練習やローマ字練習を繰り返し行う。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10000 より大きい数の表し方や大きさを理解している。 ○ 数直線に示された数の読み取りができている。 ● 掛け算や割り算を用いて、文章問題を解くことに課題がある。 ● 身近にあることの時間を推察して、適切な単位を使うことに課題がある。 ● 文章問題から立式の理由を説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はげみの時間」や家庭学習での反復練習を行い、基礎・基本の定着に努める。 ・ 日常生活の中で、時計を読んだり、時間を計算したりする活動を行う。 ・ 文章問題等を解く際、計算のきまりを確認し、立式の理由を書く練習をする。 ・ 既習の足し算、引き算、掛け算、割り算の基礎・基本の計算練習を継続して行う。

上 分 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読みができています。 ○ 説明文の内容を読み取ることができています。 ● 情報と情報との関係について理解し、要約することや自分の考えを理由を挙げて書くことが難しいです。 ● 話し合いを基に話を聞くことやローマ字や国語辞典の使い方に課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書活動や国語科の授業を通して、新出単語を国語辞典で調べたり、単語を使って短文を作ったりする学習をします。 ・ 文章の中心となる語や文を見付けながら読むことを繰り返し、情報やその関係について理解できるようにしていきます。 ・ 条件に合わせて文章を書く活動を取り入れ、伝えたいことを適切な言葉を使って、表現する学習をしています。 ・ タイピング検定などに取り組み、ローマ字を正しく覚えたり、使ったりする活動を行っていきます。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間の単位の間隔を理解したり、ある時刻から一定時間後の時刻を求めたりすることができています。 ○ 円の半径とコンパスの使い方や球について理解できています。 ● 10000 より大きい数で、千万の位までについて、十進位取り記数法による数の表し方を考える問題に課題が見られます。 ● かけ算で、2けた×1けた、3けた×1けたの計算問題に課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のスキルタイムを活用し、「10000 より大きい数」や「かけ算」など、苦手な単元の内容を復習していきます。 ・ 文章問題で正しい式が導き出せるように、問題で大事な部分に線を引いたり、図や式に表したりして学習を重ねます。 ・ 式から文章問題を作ったり、作った文章問題を友達と解き合ったりして、式と文章のつながりが理解できるようにしていきます。
南 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の内容を正しく読み取る力が付いてきています。 ○ 第3学年に配当されている漢字の書き取りができています。 ● 説明文の内容を読み取ること課題があります。 ● 多くの資料の中から重要な情報を選択して、考えたことを文章に書く力に課題が見られました。 ● 漢字の音訓の理解に課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の学習の時間や宿題で説明文や資料の読み取りに関する学習を取り入れ、どのように読み取っていくかを指導し、練習していきます。 ・ 漢字の復習の際に、音読みと訓読みを繰り返し確認して定着を図ります。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的によくできていました。 ○ 基本的な計算の技能が身に付いています。 ○ 道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取り、道のりを計算する力が身に付いています。 ● 時間の単位の間隔や、身近な時間に対する適切な単位の選択に課題があります。 ● はかりの目盛りの読み取りに課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントやeライブラリ等を活用し、繰り返し復習を行い、時刻と時間に関する基礎基本の定着を図ります。 ・ 実物のはかりを使いながら目盛りを読み取る練習をしたり、朝の学習や宿題を通したりして、はかりの読み取りの技能の定着を図ります。
川 滝 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習した漢字を、正しく読むことができる。 ○ 国語辞典の使い方を理解している。 ● 条件に従って文章を書くことが、十分身に付いていない。 ● 物語文や説明文を、叙述を基に捉えたり、大切な文や語に注目したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みきゃん通帳や地域の図書館を活用し、読書を推奨することにより、読解力を育む。 ・ スピーチを聞いて、質問したり感想を伝えたりする活動を継続する。 ・ キーワードを用いて学習のまとめや振り返りを書くことで、条件に従って文章を書く力を高める。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ たし算、ひき算の基本的な計算が、正確にできている。 ○ 円の中心とコンパスの使い方を正しく理解している。 ● かけ算、わり算のきまりが、十分身に付いていない。 ● 文章問題を読んで、題位に沿って立式することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かけ算、わり算のきまりは、小テストを繰り返し行うことで、定着を図る。 ・ 文章問題では、注目しなければならない言葉や数に気付くことができるよう、アンダーラインを引くなど支援し、理解を深める。
妻 鳥 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく読んだり、ローマ字を正確に読んだりすること ○ 物語の内容を正しく聞き取ること ● 書いてある事柄を正確に理解し、要約すること ● 指定された長さや、段落の構成を考えて文章を書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み書きを中心に、学習の基礎・基本がしっかりと定着するように、これまでと同様、小テストや間違った問題の直しを丁寧に行います。 ・ 文章中の何度も出てくる言葉などの重要な語句や接続語の入った文に着目することで、文章を正確に読み取る力を身に付けさせます。 ・ キーワードを使って学習内容をまとめたり、自分の思いを書いたりすることで、自分の思いや考えを表現する力が身に付くように努めます。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な四則計算を正しくすること ○ 大きな数を表したり、数の大小を比べたりすること ● 身近にあるものの長さや時間などを推察して、適切な単位を使うこと ● 計算の仕方や式の意味を場面と結び付けて説明すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算ドリルやプリント等を活用し、基礎的・基本的な計算問題を繰り返し行い、基礎学力が一層定着するよう努めます。 ・ 身近にあるものの長さや、時間の長さについて、授業中での体験的な活動を行うことで、感覚的に理解できるようにします。 ・ どのように立式し、答えを出したのかを説明する機会を設定し、自分の考えを順序立てて説明できるように努めます。

松柏小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習った漢字やローマ字を正確に読んだり書いたりすることができている。 ○ 物語文の内容を読み取る力が付いている。 ● 漢字の音読み・訓読みの理解が不十分である。 ● 説明文の読み取りや要約がやや苦手である。 ● 指定された条件に合わせて自分の考えを書くことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の漢字学習で漢字の読み書きが定着している。またクロームブックを使ってローマ字入力をしているため、ローマ字を正確に読んだり書いたりする力が付いている。今後も継続していく。 ・ モジュール学習や授業の中で、音読み・訓読みを含め、言葉の学習に力を入れていくとともに、説明文の読解問題を取り入れていく。 ・ 自分の思いや考えを指定された文字数や条件でまとめる学習を継続的に取り入れる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な計算の技能が身に付いている。 ○ 全体的にどの単元の問題も全国正答率に比べて校内正答率がやや高かった。 ● 文章問題の解き方を言葉や式を使って説明することが苦手である。 ● コンパスを用いた問題がやや苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本の計算問題は、今後も家庭学習や朝のモジュール学習で繰り返し練習する。 ・ 授業の中で、文章問題を解く際に自分の考えを説明する場面を増やす。 ・ コンパスを使って作図する学習を、授業や家庭学習の中で取り入れる。
三島小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年に配当されている漢字を正しく読む力が付いていました。 ○ 物語の読み取りでは、登場人物の様子や気持ちについて、叙述を基に捉えることができていました。 ● 既習の漢字を書くことに課題がありました。 ● 様子や行動を表す語句や音読み、訓読みについての理解に課題が見られました。 ● 自分の考えを文章で書く問題では、条件に合う適切な表現で解答することに課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字の学習では、読みと意味を確認し、練習を繰り返すことで、漢字の読み書きの定着を図ります。 ・ 文章を読み取る際には、国語辞典や漢字辞典を使い、自分で意味を調べる活動を取り入れることを通して、語彙を豊かにし、音訓読みの力を高めます。 ・ 自分の考えやなぜそのように考えたかの理由を、示された条件に合うように書く活動を通して、文章に書き表す力が身に付くように努めます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円や球の決まりやコンパスの使い方を正しく理解していました。 ○ 身近にあるものの長さや重さを推察し、適切な単位を使うことができていました。 ● 基本的なかけ算の計算や分配法則についての理解など、乗法に関する問題の正答率が低かったです。 ● 文章問題における立式や解き方を説明する問題で課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力の定着を更に図るために、図形や測定の学習では、具体的な操作活動や量感を高める活動を取り入れます。 ・ ドリル学習やミニテストを継続して行い、積み重ねることで、基礎的な計算の定着を図ります。 ・ グループ学習やペア学習、ICTの活用などを取り入れながら、立式や解き方を説明する活動を通して、数学的なものの考え方ができるように努めます。
中曽根小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の正答率は市平均を上回っている。 ○ 漢字を正しく書いたり、ローマ字を正しく読んだりすることができている。 ○ 自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことができています。 ● 叙述を基に文章の内容を捉えたり、情報と情報の関係について理解したりすることができていない。 ● 漢字の音読みと訓読みを理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業展開の工夫やICT機器の効果的な活用等、教師の指導力の向上に努める。 ・ 基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ eスタなどを日頃から利用し、説明文の内容を読み取る活動を取り入れる。 ・ 説明文を授業で扱う際には、内容を読み取るだけでなく、文章の構造を捉える活動を重点的に行う。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の正答率は市平均を上回っている。 ○ 計算の仕方や、答えの根拠を文章で説明することができている。 ● 大きな数の大きさの比べ方や表し方を考えることが難しい。 ● 基礎的な計算の仕方の定着が不十分である。 ● 既存の式を見て、その人がどのように考えて立式したのかを推測することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業のまとめや学期末において、繰り返し学習する場面を設定し、基礎・基本の定着を図る。 ・ 日常生活と結び付けて、お金の計算をしたり、数直線の一目盛りの大きさを考えたりして、数の相対的な大きさについて理解を深める。 ・ 授業等において、ただ答えを求めるだけでなく、友達同士でいろいろな考え方を共有させ、他の人がどのように考えているのかを捉える活動を取り入れる。
中之庄小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し手が伝えたいことの内容を正確に捉えて聞くことができています。 ○ 目的を意識し、集めた材料を比較したり、分類したりして必要な情報を選ぶことができています。 ● 叙述を基に登場人物の様子を読み取ったり、内容を捉えたりすることが苦手な児童が多い。 ● 文章から中心となる言葉や文を見付け要約することが苦手である。 ● 指定された条件に合った文章を書いたり、自分の考えを明確にして作文したりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での読書時間を確保したり、宿題として読書を取り入れたりとすることで、様々な分野の文章に慣れる機会をつくる。 ・ 授業のまとめとして字数やキーワードなどの条件を提示して文章を書く活動を取り入れる。その際、Chromebook を効果的に活用する。 ・ 各教科において文章を書く活動を意図的に取り入れ、書くことに対する抵抗を減らす。

	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ あまりのあるわり算2けた÷1けたの計算や、わり算を活用する文章問題において正しく立式したり、あまりを適切に処理して答えを導いたりすることが概ねできている。 ○ 数の相対的な大きさについてよく理解している。 ● 身近な時間や長さの適切な単位を選ぶことが苦手な児童が多い。 ● 球の切り口が円であることへの理解が十分ではない。 ● かけ算のきまりやかけ算を活用する文章問題が苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ドリルやChromebook を使ったドリル学習を繰り返し行い、基礎・基本の定着を図る。 ・ 個別学習や放課後学習を充実させる。 ・ 授業ではできるだけ具体物を用いて考えることで、時間や長さを想像しやすいようにする。 ・ 文章問題に取り組む際、自分の言葉で解き方を説明したり、文章化したりする活動を多く取り入れる。
寒川小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字やローマ字を正しく読むことができていました。 ○ 条件に合わせて文章を書く力が身に付いています。 ● 説明文の内容を読み取ったり、話し手が伝えたいことの中心を捉えたりすることに課題が見られます。 ● 話し合いを基に、情報と情報との関係について理解し、自分の考えを理由を挙げながら話すことができていませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文からキーワードになる語を見付け、内容を読み取ることができるように授業や学習プリントを活用して読解力を養っていきます。 ・ 朝学習やスピーチの時間を設け、自分の考えを理由を挙げて話したり、話し手が伝えたいことを捉えたりする学習の機会を増やしていきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きい数、円と球、図形の学習について理解ができていました。 ○ かけ算やわり算など基本的な内容はおおむね理解できていました。 ● 繰り返し上がり、繰り返し下がりのある計算や、計算の仕方を文章で説明することに課題が見られます。 ● ある時刻から一定時間後の時刻を求めることに課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確に計算できるように、復習プリントやドリル型学習ソフトウェアを活用し、学習内容を定着していきます。 ・ 授業において、計算の仕方を言葉や文章で表現し、説明する機会を増やします。 ・ 日常生活において時刻を意識させ、生活と結び付けて考える力を養っていきます。また定期的に復習問題を取り入れていきます。
豊岡小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読み方について、理解できていること。 ○ いくつかの条件に従って文章を書こうとしていること。 ● 漢字の音読み、訓読みを理解すること。 ● 資料や話し合いの様子が書かれた文章をもとに問題に答えること。 ● 物語文を読んで、問いに答えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字を学習する際には、音読み及び訓読みを意識させ、読み方について丁寧に学習できるようにする。 ・ 教師が物語などの本を紹介したり、朝の読書の時間や国語の読書の時間を充実させたりして、物語など様々なジャンルの文章に親しむことができるように工夫する。 ・ 国語科や社会科において、資料から読み取る力をつけられるような問題に取り組む時間を授業中や朝のスキルタイムに設ける。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな数の概念や構成について理解できていること。 ○ わり算に関する文章問題の立式及び解答ができていること。 ○ 複数の領域にまたがる複合的な問題に対して、平均正答率を上回っていること。 ● 単純な四則演算に関して、ケアレスミスが見られること。 ● 長さ、距離に関する単位の概念や、単位をそろえて計算すること。 ● コンパスを使った作図の仕方や球の性質を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し四則演算の計算練習に取り組みせ、計算後の見直しを徹底させる。 ・ 苦手意識を持っている児童が多い単元を中心に、Chromebook を使ったドリル学習に繰り返し取り組みせ、基礎基本の定着を図る。 ・ 算数の授業において、児童同士で問題を一緒に考えたり、教え合ったりする活動を取り入れ、学び合いながら、相互の学力を高めていく。授業で、コンパスや巻尺などの具体物を使った活動を充実させ、さらなる理解を促すようにする。
新宮小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に大変良好な状況にあります。漢字を読む、書く、物語の内容を読み取る力が身に付いています。また、話し合いの内容を理解し、問題に取り組んでいます。 ● 自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことが十分ではありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み書きや内容の読み取りは大切な基礎学力ですので、漢字の練習や読書活動に今後も丁寧に取り組んでいきます。 ・ 発表の際に、自分がそう考えた理由を付け加えたり、実際に書いて発表したりする活動を通して、根拠に基づいた表現ができるよう支援していきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に大変良好な状況にあります。基本的なたし算やひき算、かけ算の計算を正確にできています。また、大きな数や長さや重さ、円と球の単元についての理解がしっかりできています。 ● わり算については、文章問題を図に表したり、問題を解くために立式したりする力がさらに付くことが望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も計算練習を定期的に行い、問題を解くためのスキルを確実に身に付けていきます。 ・ 各単元の内容について、今後も忘れないように、復習を行います。 ・ 文章問題を解くために様々な方法を各自が考え、意見を交流する機会を通して、筋道立てて問題を解いていく力を付けていきます。

長津小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年の漢字を正しく読むことができます。 ○ 物語や説明文の内容を正しく読み取ることができます。 ○ 条件に沿って文章を書いたり、自分の考えを文章に表したりすることができています。 ● 第3学年の漢字を正しく書くことに課題があります。 ● 話合いの内容を聞き取ることに課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も漢字スキルを活用し、日々の漢字練習に努めます。日記指導や日々の振り返りの中で学んだ漢字を活用するように指導していきます。 ・ 聞き取りの問題では、大事な言葉を聞き逃さないようにメモを取る活動を授業に取り入れていきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 千万の位までについて数の概念や表し方を理解できています。 ○ かけ算やわり算などの基礎的な計算の力が身に付いています。 ○ 時間の単位の関係を理解し、ある時刻から一定時間後の時刻を求めることができます。 ● 文章問題について、式や言葉を使って説明することに課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のスキルタイムなどを活用し、引き続き基礎的な学習の定着を図ります。 ・ 文章問題を解く際には、問題場面がイメージできるようなイラストを提示したり、具体物を用いたりしながら図や式、言葉などで解き方を考えていけるよう視覚的な支援をしていきます。
小富士小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生の新出漢字を正しく読むことができた。 ● 漢字を正しく書く問題の正答率が低かった。 ● 文章を書く問題では、自分の考えを指定された文字数や、段落の意味を理解して、二段階構成で書く問題の正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字を読むことはできているが、書くことを苦手とする児童が多い。そのために、普段から習った漢字は積極的に使い、漢字テストの見直しに力を入れて取り組む。 ・ 段落の意味を理解して、普段の生活の日記や国語科での感想を書く活動を増やす。 ・ ローマ字の問題に課題が見られたので、外国語活動の授業と結び付けて、復習する。その際にはクロームブックを使用して、キーボード入力でのローマ字を復習していく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ かけ算とわり算の計算問題では、正しく立式して解答を出す問題の正答率が高かった。 ● 「時こくと時間」の、一定時間後の時刻を求める問題の正答率が低かった。 ● 「円と球」の、円の半径を正しく理解して、長方形の長さを求める問題の正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻の問題に課題が見られたので、基本的な時計の読み方について復習する。 ・ 「円と球」の問題に課題が見られたので、半径と直径の長さを理解して、求めることができるように復習する。
北小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の漢字を正しく読むことができます。 ○ ローマ字を正しく読むことができます。 ● 説明文の内容を読み取り、叙述を基に内容を捉えることに課題が見られます。 ● 与えられた文字数や内容で文章を書いたり、要約したりすることに課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も、宿題の漢字練習を継続したり、既習の漢字を用いて文章を書いたりしていきます。 ・ タイピング練習やローマ字の読み書きを継続し、定着に努めていきます。 ・ スキル等を活用して読解問題に取り組み、文章を読み取る力を身に付けていきます。 ・ テーマに沿った内容や条件で文章を書く練習に力を入れていきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1万を超える大きい数の表し方や数直線の読み取りが正確にできています。 ○ 既習の掛け算や割り算の計算や、コンパスを用いての円の作図の仕方が定着しています。 ● 余りのあるわり算や、その答えの確かめ方に課題が見られます。 ● 文章問題を読み、何算かを判断したり、立式したりすることに課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 位取りをしたり、正確に目盛りを読んだりすることができるよう継続して支援していきます。 ・ 今後もスキルやプリントを活用し、基礎基本の定着に努めます。 ・ 例題に取り組みながら、答えを確かめる方法を再度確認し、正確に行えるように支援していきます。 ・ スキル等を活用し、キーワードになる言葉に印を付けながら問題文を読み取り、自力で立式できる力を付けていきます。
土居小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き取って答える問題の正答率が高い。 ○ 漢字の読みについては、当該学年までに習った漢字の読みの定着率が高い。 ○ 物語文を読んで内容を読み取ることができている。 ● 漢字の音読みと訓読み、様子を表す言葉などの言葉の学習について課題が見られる。 ● 説明文を読んで内容を正しく読み取ることことに問題がある。 ● 条件に応じて文章で表す問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字については、読みだけでなく正しく書けるように朝のドリルタイムの継続や家庭学習等により反復練習をし、当該学年の漢字を習得できるようにする。 ・ 言葉の使い方について当該学年までに学習した内容の練習問題に取り組み、見届け個別指導を行う。 ・ 説明文について、文章から内容を読み取る練習をする。特に、初見の文章の内容を読み取る練習をする。 ・ 学習したことや思いや考えを文章で適切に表す力が身に付くように、授業の中に書く活動を適切に取り入れる。

	<p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10000 より大きい数について、数の相対的な大きさや100 倍した数を理解できている。 ○ 割り算の文章問題から立式し、あまりの処理をして正しい答えを求める問題は正答率が高い。 ○ 円と球などの図形の理解ができている。 ● (2けた)×(1けた)や(3けた)×(1けた)の計算に課題が見られる。 ● 時刻と時間について、適切な単位を使うことに課題がある。 ● 長さや重さの目盛りを読む問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のドリルタイムや家庭学習等により、かけ算を中心とした学習内容を反復・復習し、基礎・基本の定着を図る。 ・ 身の回りの時間に単位を付けることを通して、適切な時間の感覚が身に付くよう、授業の中に取り入れていく。 ・ 基本的な問題のプリントやドリル学習と文章問題などを適切に組み合わせて、知識の定着を図る。 ・ ICTを効率的に取り入れながら、操作活動を工夫し、視覚的理解が図れるよう授業改善を進める。
	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年の配当漢字を読んだり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすることができている。 ○ 物語の内容を読み取ることができている。 ● 複数の条件の下で文章を書くことに課題がある。 ● 漢字の音読みと訓読みの理解に課題がある。 ● 時間内に、問題を最後まで解くことができていない児童がいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の条件下で文章を書く活動を定期的に取り入れる。 ・ ドリル型学習ソフト等を活用して、漢字を書いたり音読みと訓読みの練習をしたりする学習を積み重ねる。 ・ 時間内に問題を解くことができるように、時間を意識して課題に取り組ませる。
<p>関川小</p>	<p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 割り算の文章問題において、立式したり正しく計算したりすることができている。 ○ 大きい数の理解や第3学年で学習する計算は身に付いている。 ○ 身近にあるものの長さや重さを適切な単位を使って表すことができている。 ● 円と球の学習内容が定着していない。 ● 問題の解き方を言葉で説明することに課題がある。 ● 時間内に、問題を最後まで解くことができていない児童がいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立式の理由や意味を考える活動を取り入れ、言葉や図を使って説明することができるようにする。 ・ 時間や条件を設定した問題に取り組み、条件を意識しながら解く活動を行う。 ・ ドリル型学習ソフト等を活用して、基本的な学習内容が定着するようにする。